

サービス業

回答企業42企業

概況

～業況判断DI値 3期連続やや改善～



今期の業況判断DI値は、前回調査比7.2ポイント上昇の0.0とやや改善し、前回調査予想値(▲4.8)を上回る結果となった。項目別では、売上・受注で14.3ポイント上昇の14.3、売上数量が19.0ポイント上昇の11.9、利益でも19.1ポイント上昇の14.3と全項目で改善となった。

新型コロナウイルス感染者数は増加傾向にあるが、影響は落ち着きを見せ、業種間格差はあるがやや改善で推移した。

分野別の状況

～総合的業況はやや改善で推移～

旅館・ホテル業は、「全国旅行支援」の効果もあり県外からの旅行者が増加し、価格転嫁を行った先も見られ、利益は確保している。

理容・美容業は、材料価格の高騰および光熱費等経費が増加したが、客足がコロナ禍前に戻りつつあることで、売上は確保され利益は不变となった。

自動車整備・鍛金業は、塗料やテープなどの材料費の高騰が継続しており利益を圧迫している。また、人員不足の状況が慢性的に続いている。

自動車教習所は、受講生数はほぼ計画通りで推移、売上・利益とも前年同期並みに推移した。生徒の進学率が上昇していることで1～3月に移行する傾向にある。

旅行代理業は、「全国旅行支援」により売上は確保されたが、事務作業等経費も増加し利益減少となった。

運輸業

回答企業10企業

概況

～業況判断DI値 大幅改善で推移～



今期の業況判断DI値は、前回調査比80.0ポイント上昇の30.0と大幅改善し、前回調査予想値(0.0)を上回る結果となった。項目別では、売上・受注で30.0ポイント上昇の50.0、売上数量が30.0ポイント上昇の50.0、利益でも30.0ポイント上昇の20.0と全項目で大幅改善となった。

りんご輸送の本格化による季節的要因で、総体を押し上げる結果となった。

分野別の状況

～業況良好に推移～

旅客運送業は、大手旅行会社の団体ツアーの受注が良好、また大雨被害によるJR運休区間の代行輸送もあり好調に推移した。

貨物運送業は、りんご輸送の本格化時期であり売上は大幅に増加した。燃料価格高騰に伴い運賃交渉を行っていたが、折り合いがつかず取引解消となったケースもあった。

燃料価格高騰が利益を圧迫している中、価格転嫁に苦慮している状況が続いている。総合的業況は、季節的要因により大幅改善で推移した。

建設資材運送業は、契約代金の値上げをしたことで売上増加となつたが、燃料価格が上昇していることから、利益は例年並みとなつた。

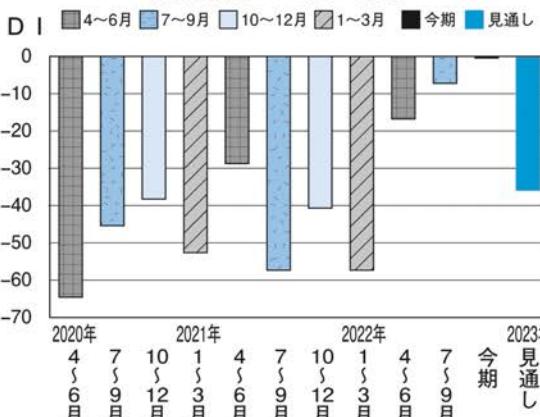
来期の見通し

～業況判断DI値 大幅悪化の見通し～



来期の見通し業況判断DI値は、今回調査比35.7ポイント低下の▲35.7と大幅悪化の見通しである。項目別では、売上・受注で59.5ポイント低下の▲45.2、売上数量が54.8ポイント低下の▲42.9、利益でも54.8ポイント低下の▲40.5と全項目で大幅悪化の見込となった。季節的要因の影響もあるが、材料価格および光熱費等の高騰が続くことが予想され、大幅悪化する見通しである。

業況判断DI値の推移



来期の見通し

～業況判断DI値 大幅悪化の見通し～



来期の見通し業況判断DI値は、今回調査比40.0ポイント低下の▲10.0と大幅悪化の見通しである。項目別では、売上・受注で70.0ポイント低下の▲20.0、売上数量が70.0ポイント低下の▲20.0、利益でも60ポイント低下の▲40.0と全項目で大幅悪化の見込みとなった。来期はりんごの取扱量が減少する等、季節的要因により大幅悪化の見通しである。燃料価格高騰が継続すると予想され、利益確保の難しい状況が続く。

価格転嫁できるかが課題となっている。

業況判断DI値の推移

